

レンジフードファン

セット形名

V-90CF₂

■本製品は下記の3個の梱包で納品されます。
据付けを始める前に梱包に表示されている形名をご確認ください。

品名	形名
送風機	V-90CF ₂ -FAN
フード	P-90CF ₂ -HD
ダクトカバー	P-90CF ₂ -DV

据付説明書

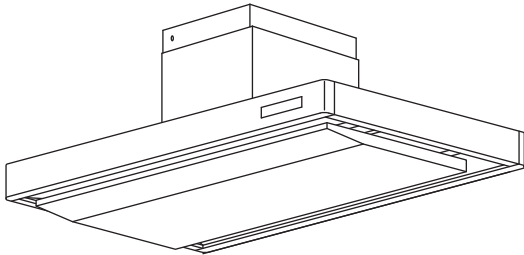
販売店・工事店様用

据付けを始める前に、この据付説明書をよくお読みください。

据付けは販売店・工事店様が実施してください。

- 本製品は住宅の台所用です。業務用途では使用できません。
- 本製品の据付けにあたっては、地域により防災上での制限（内装材の制限、可燃物との距離の制限、ジャバラの使用など）がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。
- 接続ダクトはφ150の鋼板管・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。

付属品（リモコン・リモコンホルダー・マグネット・乾電池・木ネジ）と別冊の「取扱説明書」はお客様用です。お客様に必ずお渡しください。



もくじ

安全のために必ず守ること	2
据付け前のお願い	3
外形寸法図	4
据付方法	5~11
1.据付け前の準備	5
2.ダクト接続口の取付け	6
3.吊りボルト金具の取付け	6
4.整流板のはずしかた	6
5.フィルターのはずしかた	6
6.スライド金具の取付け	7
7.送風機の据付け	7~8
8.電気工事	9
9.排気ダクトの接続	9
10.フードの取付け	9
11.ダクトカバーの取付け	10
12.内部配線の接続	11
13.フィルター・整流板の取付け	11
据付け後の確認	12

安全のために必ず守ること



警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

 禁止	<p>内釜式風呂を設置した住宅には据付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。</p>	 指示に従う	<p>交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因。</p>
 水ぬれ禁止	<p>直接水のかかる場所や湿気の多い場所には据付けない 感電および故障の原因。</p>		<p>製品金属部(金属製ダクト)がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電氣的に接続しないように据付ける 接続されていると漏電した場合火災の原因。</p>
 分解禁止	<p>改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。</p>		<p>自然排気型ストーブがある部屋に据付けるときは、部屋の空気取入れ口を設ける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。</p>
 プラグを抜く	<p>ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る 通電状態では感電の原因。</p>		<p>包装用ポリ袋などは幼児の手の届かない所に廃棄または保管する 幼児が頭からかぶると、窒息の原因。</p>
 アース確認	<p>アースを確実に取付ける 故障や漏電した場合感電の原因。</p>		



注意

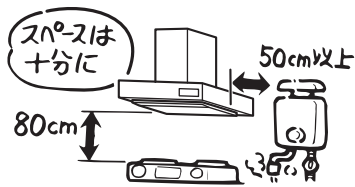
誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

 禁止	<p>浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない 感電・故障の原因。</p>	 指示に従う	<p>電気工事・アース工事は電気工事士が行うこと 電気工事士以外の方が工事すると、火災・感電・けがの原因。</p>
<p>指定以外のランプを使用しない ランプ周辺が高温になり、やけどの原因。</p>	<p>部品の取付けは確実に 落下によりけがの原因。</p>		
 接触禁止	<p>運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。</p>	 プラグを抜く	<p>電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。</p>
 指示に従う	<p>本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがの原因。 据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。</p>		<p>据付け後長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。</p>

据付け前のお願い

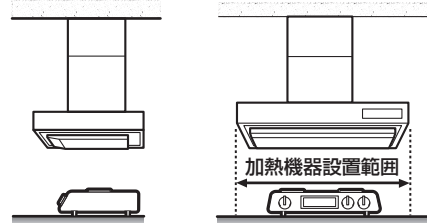
下図の寸法を守る

(本体の下端から加熱機器までは80cm以上必要です)



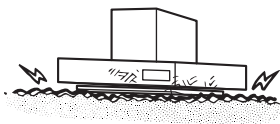
(モータ故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります)

- レンジフードファンは加熱機器よりも幅の広い物を選択してください。
- 加熱機器から本体下端までの距離は80cmにできるだけ近い距離で据付けてください。



(捕集性能が得られないことがあります)

コンクリートなど、傷のつきやすいものの上には直接置かない

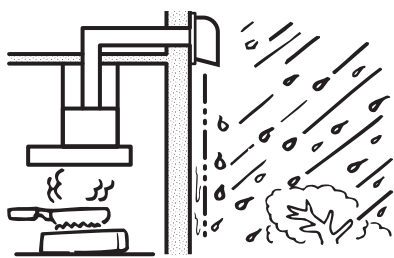


本体は水平に据付ける (前後・左右)
(羽根当たりや異音の原因となります)

- 電子点灯方式の蛍光灯 (ICインバータ蛍光灯など) の近くや、直接日光などの強い光が当たる場所に設置すると、リモコンや連動信号を受けつけにくくなる場合があります。

ダクト工事

- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつける。先端に屋外フード (システム部材) などを取付けることをおすすめします。また、屋外フードはメンテナンスができる位置に取付けてください。
- 次のようなダクト工事はしない。(風量低下や異常音発生の原因となります)
 - 極端な曲げ
 - 多数の曲げ
 - 吐出口のすぐそばでの曲げ
 - しぼり
- システム部材の選定には圧損の少ないものを使用してください。(製品性能が得られないことがあります)

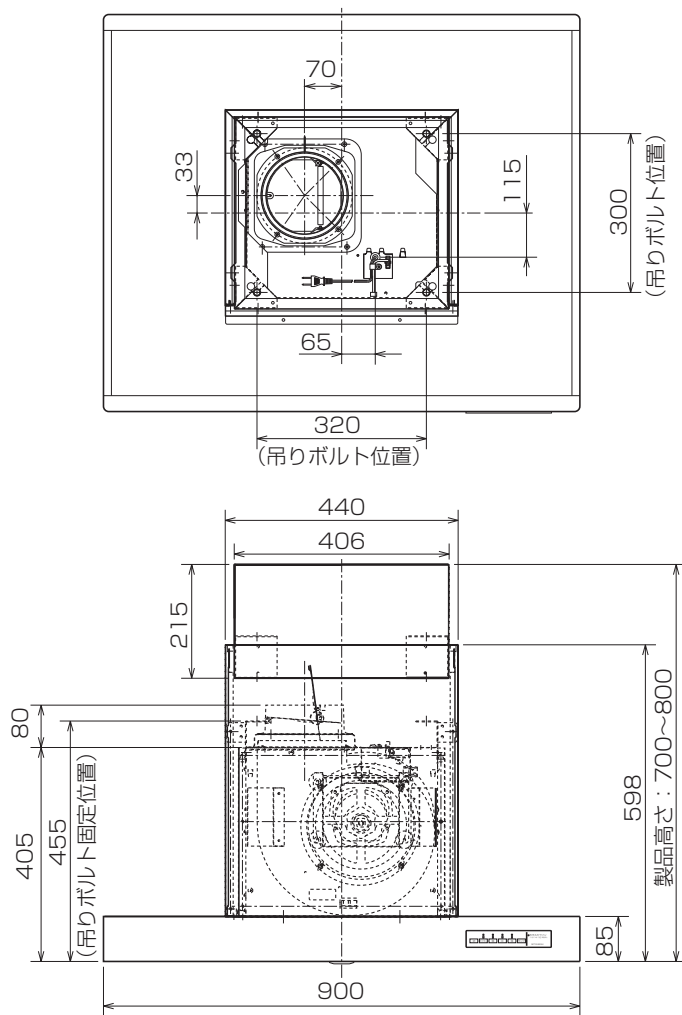


排気ダクトの先端には条件に合ったシステム部材が用意してあります、ご利用ください。

- 鳥などの侵入防止にベントキャップ
- 雨水の浸入防止に深形フード
- 吹き上げが強いところには耐外風高性能フードを取付けてください。
- 屋外フードはメンテナンス (清掃・点検) できる場所に取付けてください。

- 室内には専用の給気口を設けるようにしてください。
(扉の開閉が困難になったり、製品性能が得られないことがあります)
- 風の影響を受けやすいため、空調機や給気口からの風が調理の油煙に直接あたらないようにしてください。(油煙等の漏れの原因となります)
- 作業は2人以上で行ってください。

外形寸法図



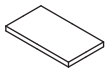



単位 (mm)





付属部品

●下記の付属部品があります。

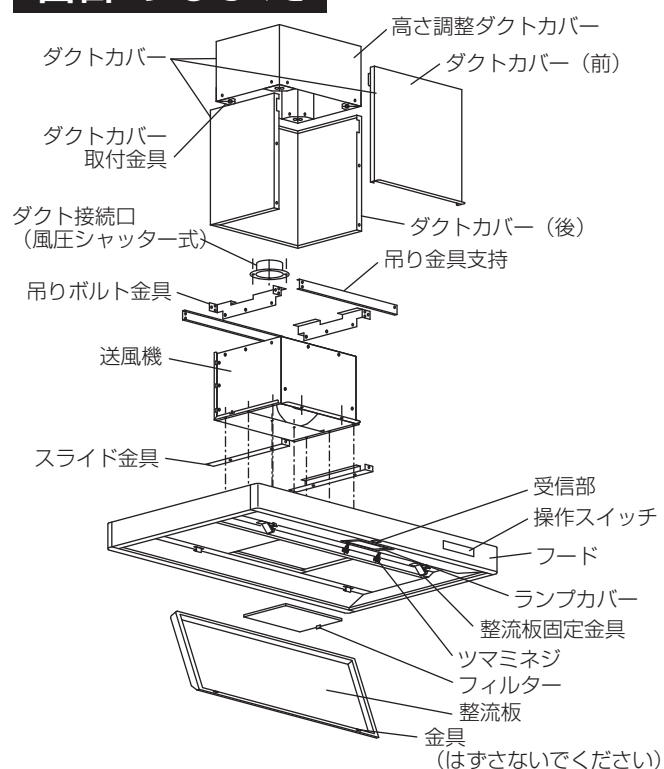
■フード付属品

ネジ①4X30…4本  高さ調節ダクトカバー 取付用	ネジ②……………40本 トラスタッピンネジ4X8  本体とフード取付用 ダクト接続口 取付用他	コードクランプ ……1個 配線固定用 	
ダクト接続口 ……1個 	リモコン……………1個 	リモコン ホルダー ……1個 	マグネット ……1個 
乾電池……………2個 	木ネジ……………2個 	パッキン…1個 	穴ふさぎ用テープ ……1個 

■送風機同梱部品

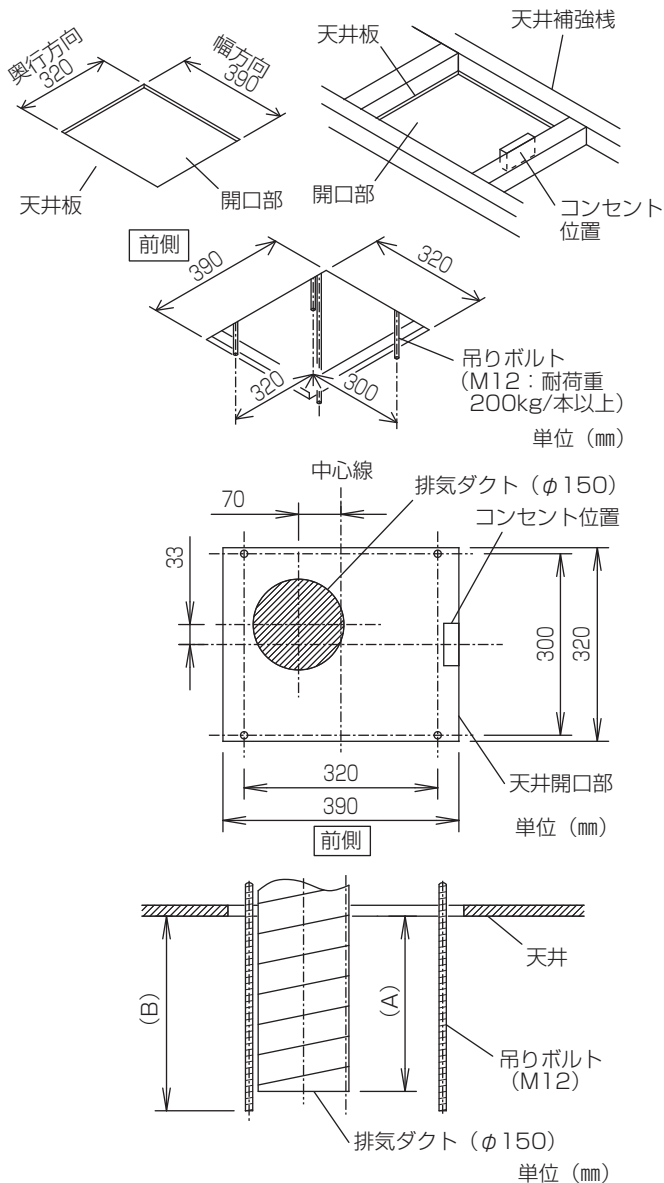
吊りボルト金具 ……2個 	吊り金具支持 ……2個 	スライド金具L/R ……各1個 	ダクトカバー 取付金具…4個 
--	---	---	--

各部のなまえ



据付方法

1 据付け前の準備



- 据付箇所への強度を確認する。
●製品を支える強度（製品質量36kg）が必要です。
- 左図を参照し、天井面の本体据付位置に幅390mm×奥行320mmの開口を開ける。
●開口部周囲の補強枠は野縁や野縁受けなどに固定してください。

手配いただくもの

- 吊りボルトの他、製品設置用のナット、ワッシャーなどは販売店・工事店様手配となります。

【1台あたりの必要数量】

	個数
M12吊りボルト	4本
M12ナット	28個
M12ワッシャー	24個
M12スプリングワッシャー	12個

吊りボルトについて

- 吊りボルトは耐荷重200kg/本以上となるよう設置状態図を参照し吊りボルト固定木に取り付けてください。
- 開口部の補強枠に電源プラグと同形のコンセント（AC100V）を設置してください。
 - 左図を参照し、φ150の排気ダクトを天井面より配管する。
●排気ダクトの天井面からの突き出し長さ（A）および吊りボルト突き出し長さ（B）は製品の高さにより異なります。次式により算出してください。（単位：mm）

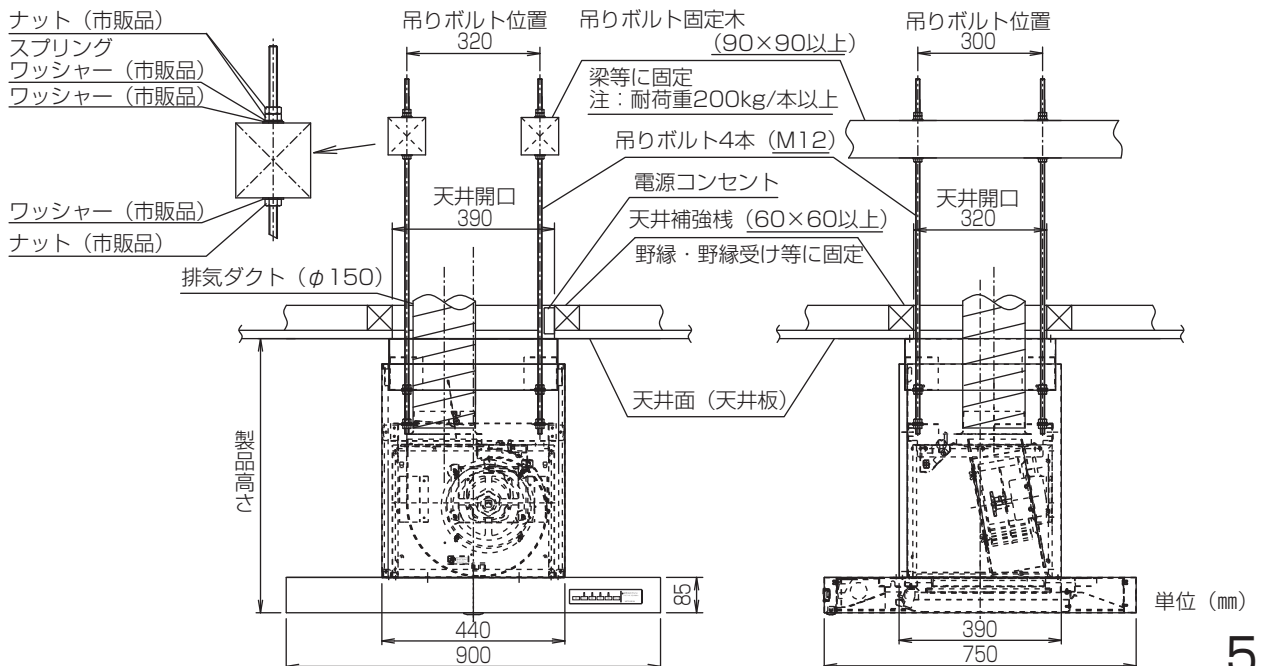
$$\begin{aligned} \text{排気ダクト突き出し長さ (A)} &= \text{製品高さ} - 460 \\ \text{吊りボルト突き出し長さ (B)} &= \text{製品高さ} - 425 \end{aligned}$$

(例)

製品高さ	A	B
H700	240	275
H800	340	375

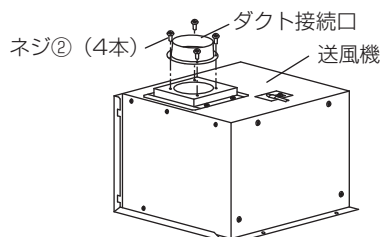
- フードとダクトカバーに貼ってある保護シートをはがす。

■設置状態図



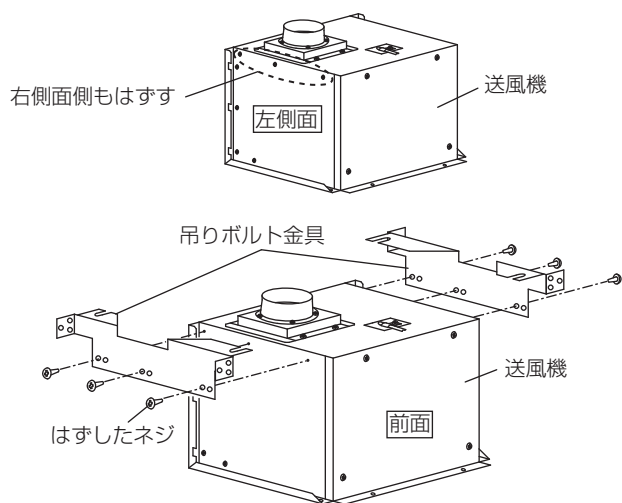
据付方法 つづき

2 ダクト接続口の取付け

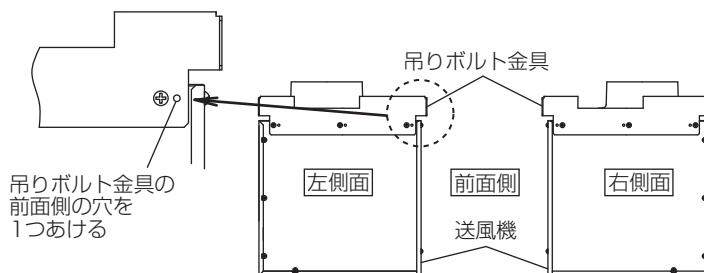


- 1 ダクト接続口を付属のネジ②（4本）で本体に取付ける。
 - ネジは必ず4本取付けてください。

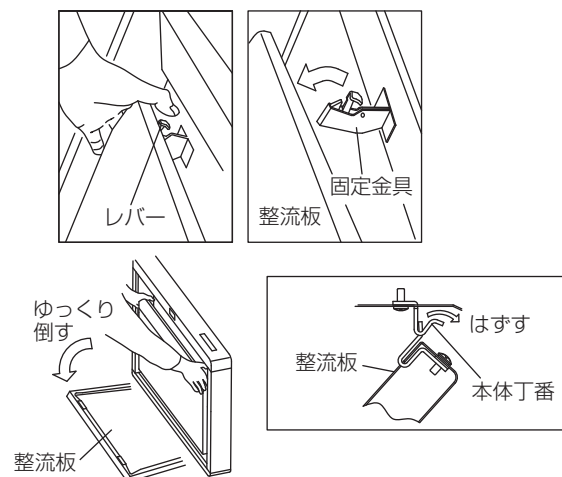
3 吊りボルト金具の取付け



- 1 左図の位置に取付けてあるネジ（左右6箇所）をはずす。
- 2 はずしたネジを使い、吊りボルト金具を送風機に取付ける。

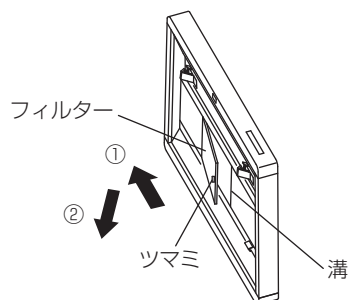


4 整流板のはずしかた



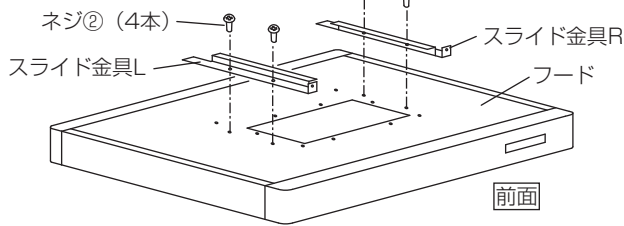
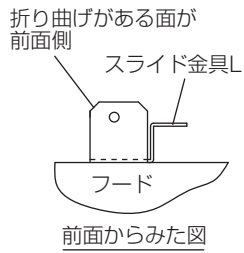
- 1 両手で整流板をしっかり支える。
- 2 固定金具のレバーに指をかけ、レバーを手前へ引いて整流板を固定金具からはずす。
- 3 整流板を両手で支えたまま、手前にゆっくり倒す。
- 4 整流板を開き、本体丁番から整流板をはずす。

5 フィルターのはずしかた



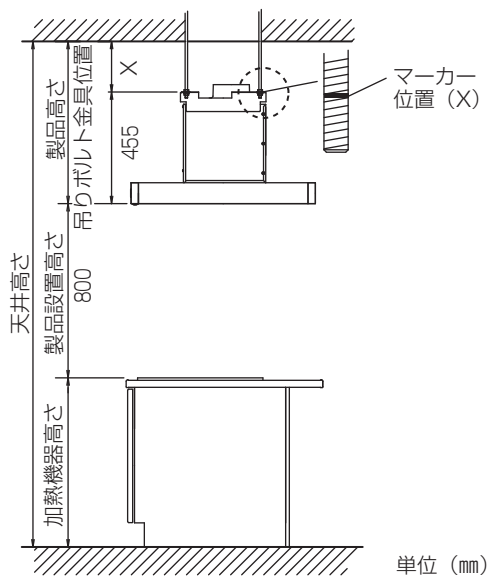
- 1 フィルターのつまみをしっかり持つ。
- 2 フィルターを①の方向へ押し溝からはずし、②の方向へフィルターを取りはずす。

6 スライド金具の取付け



- 1 スライド金具 (L/R) を付属のネジ② (4本) でフードに取付ける。

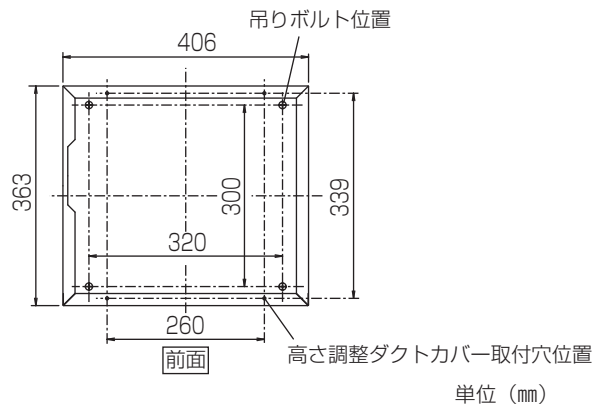
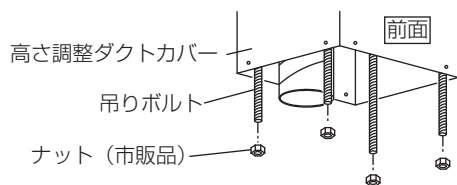
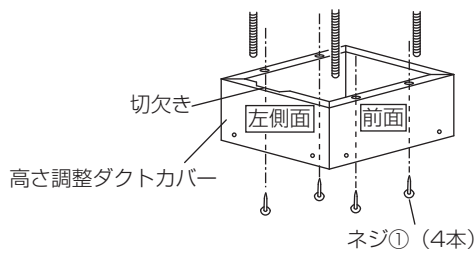
7 送風機の据付け



- 1 吊りボルトの吊りボルト金具位置にマーカ (左図X位置) を付け、本体の据付位置を決める。
● マーカーの位置は次式より算出してください。

$$\text{マーカ位置 (X)} = \text{製品高さ} - 455 \quad \text{単位 (mm)}$$

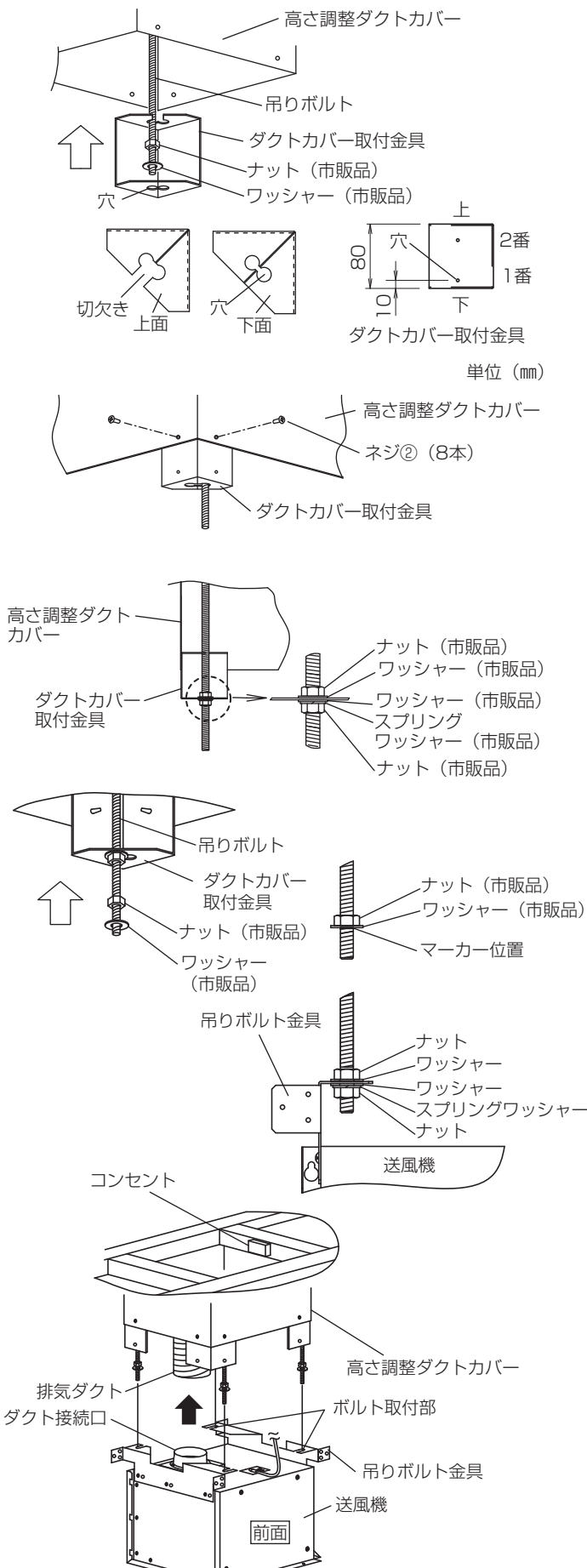
- 2 高さ調整ダクトカバーを取付ける。
高さ調整ダクトカバーは切欠きがある面を左上側にして付属のネジ① (4本) で天井面に取付ける。
● 高さ調整ダクトカバーの取付けは下図を参照してください。
● 高さ調整ダクトカバーは正しい位置に取付けてください。
取付け位置を間違えると本体やフードが正しく取付けられない原因になります。



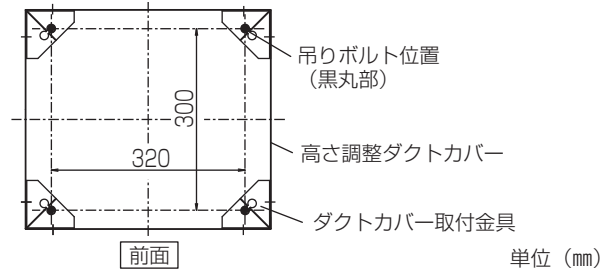
- 3 市販のナット (M12) を吊りボルトに取付ける。

据付方法 つづき

7 送風機の据付け つづき



4 市販のワッシャー (M12) を吊りボルトに通し、ダクトカバー取付金具の穴を吊りボルトに通す。
 ●ダクトカバー取付金具は、切欠きのある面を上にしてください。また吊りボルトの位置は下図を参照してください。



5 ナットをねじ込み、高さ調整ダクトカバーとダクトカバー取付金具を、製品高さに応じた穴位置に調整する。
 ●製品高さに合わせた穴位置は下表を参照してください。

製品高さ	700~750	751~800
使用する穴	1番	2番

6 ダクトカバー取付金具 (4個) を付属のネジ② (8本) で高さ調整ダクトカバーに取付ける。吊りボルトに市販のワッシャー、スプリングワッシャーを通し、ナットをねじ込み確実に締め付ける。

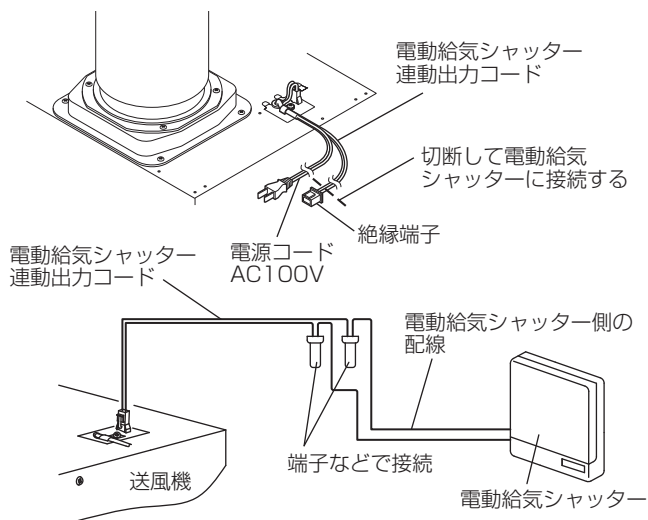
ナット締め付け時、ダクトカバー取付金具を変形させないように注意してください。

7 吊りボルトにナットを取付け、ワッシャーを通してください。
 ●ワッシャーの下面をマーカ位置に合わせてください。
 ●ワッシャーはテープで仮固定してください。

8 送風機を持ち上げて吊りボルト金具のボルト取付部 (4箇所) に吊りボルトを通し、ワッシャー、スプリングワッシャーを通してからナットをはめ込み、確実に締め付けてください。
 ●排気ダクトにダクト接続口を差し込みながら本体を取付けてください。

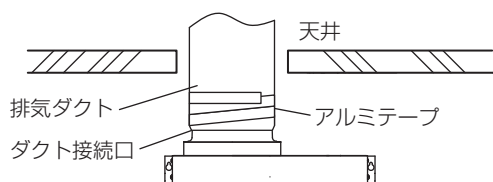
ナット締め付け時、ボルト取付部を変形させないように注意してください。

8 電気工事



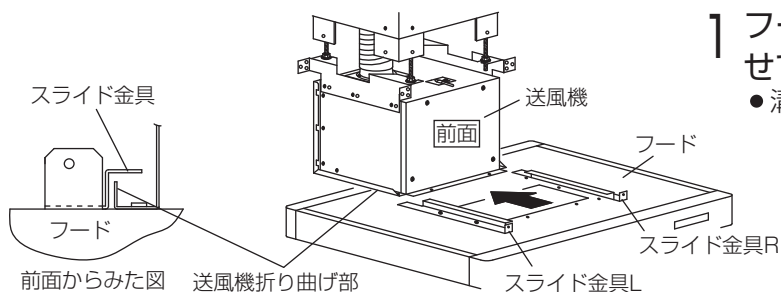
- 1 アースはD種接地工事を実施してください。
- 2 電動給気シャッターを使用する場合は、電動給気シャッター連動出力コード先端の絶縁端子を切断して電動給気シャッター側の配線と接続する。
- 3 コンセントに電源プラグを差し込む。

9 排気ダクトの接続

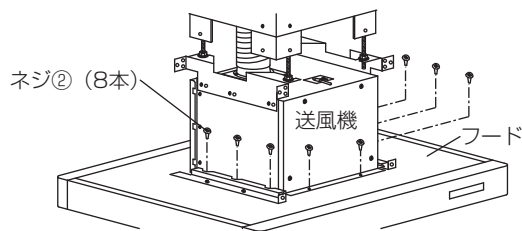


- 1 排気ダクトを市販のアルミテープなどでテーピングする。
● 風漏れがないよう確実に行ってください。

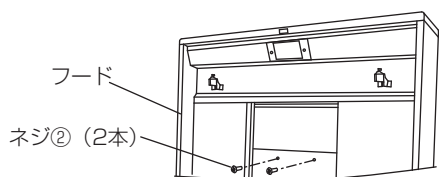
10 フードの取付け



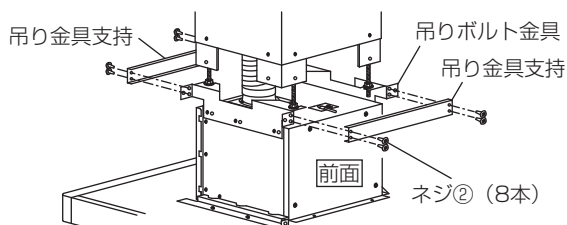
- 1 フードのスライド金具 (L/R) を送風機に合わせてフードを取付ける。
● 溝に沿ってまっすぐにスライドさせてください。



- 2 付属のネジ② (8本) で送風機とフードを固定する。



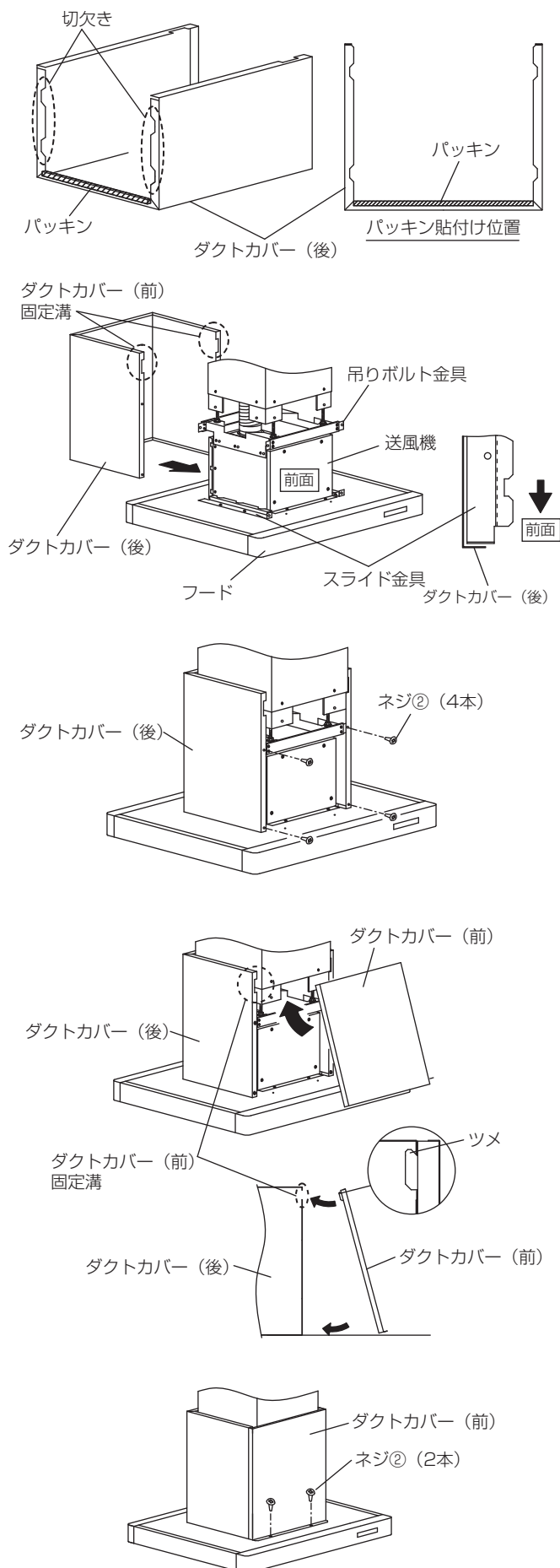
- 3 付属のネジ② (2本) でフードを内側から送風機に固定する



- 4 吊りボルト金具に付属のネジ② (8本) で吊り金具支持 (2本) を取付ける。
● 送風機とフードが確実に固定されていることを確認してください。

据付方法 つづき

11 ダクトカバーの取付け



1 ダクトカバー (後) にパッキンを貼付ける。
●ダクトカバー (後) は切欠きのある方が下面になります。

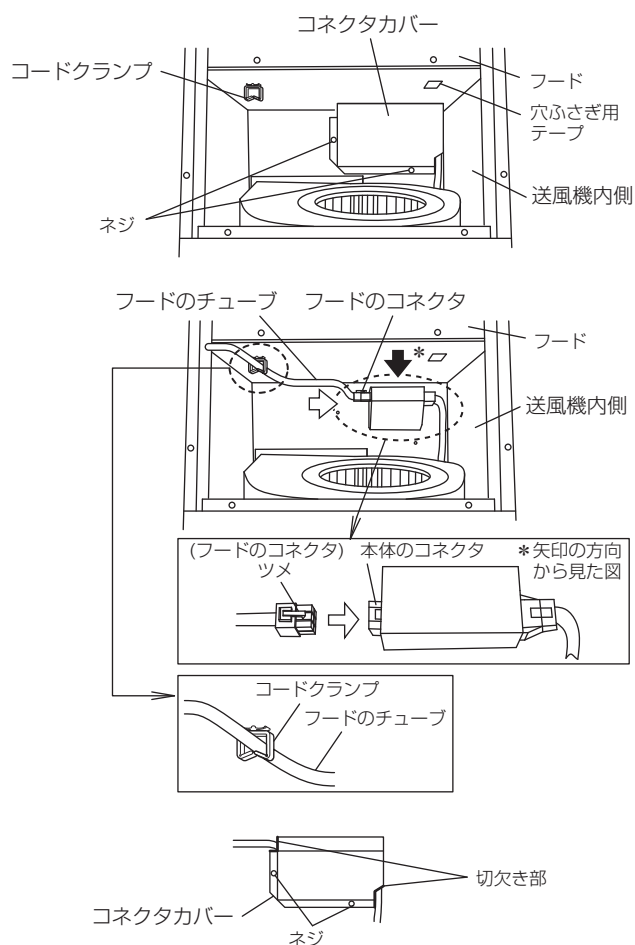
2 ダクトカバー (後) のダクトカバー (前) 固定溝を上側にして、送風機の後方から取付ける。
●ダクトカバー (後) はフードのスライド金具の上に乗せてください。
●ダクトカバー (後) の前面は吊りボルト金具とスライド金具の前面より手前になるように取付けてください。

3 吊りボルト金具とスライド金具に付属のネジ② (4本) でダクトカバー (後) を取付ける。

4 ダクトカバー (後) のダクトカバー (前) 固定溝にダクトカバー (前) のツメを合わせ、下方から差し込み取付ける。

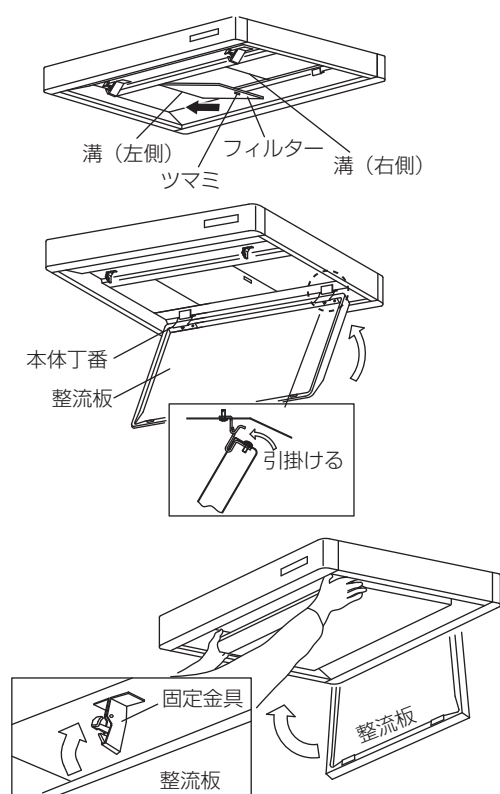
5 フードに付属のネジ② (2本) でダクトカバー (前) を取付ける。

12 内部配線の接続



- 1 コードクランプと穴ふさぎ用テープを取付ける。
- 2 ネジ2本をはずして、コネクタカバーを取りはずす。
- 3 フードのコネクタを本体のコネクタに接続する。
 - コネクタには向きがあります。取付ける際に注意してください。無理に押し込むとコネクタの損傷の原因となります。
 - 接続後は軽く引っ張り、確実に接続されたことを確認してください。
- 4 フードのチューブ（リード線）をコードクランプに通す。
- 5 コネクタカバーを手順2ではずしたネジで取付ける。
 - リード線はコネクタカバーの切欠き部を通して、コネクタカバーを取付けてください。

13 フィルター・整流板の取付け



- 1 左側の溝にフィルターを合わせ、矢印の方向に押し込みながら右側の溝にはめてフィルターを取付ける。
 - フィルターのツマミが右側の溝にくるように取付けてください。
- 2 フードの本体丁番に整流板を引掛ける。
- 3 整流板を両手で支えてゆっくり起こし、フードの固定金具で整流板を固定する。
 - 片手で整流板を持ち、軽く下に引いてはずれないことを確認してください。



据付け後の確認

■据付けが終わりましたら、次の確認をしてください。

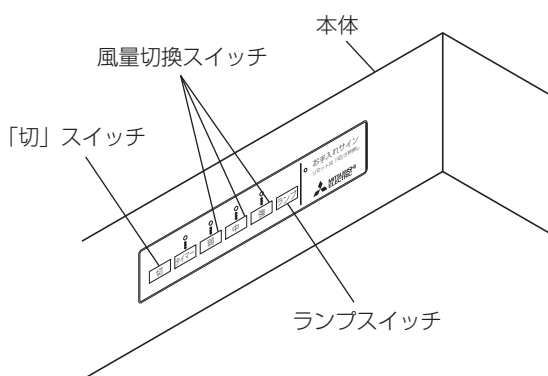


警告

ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤ブレーカを切る。
感電の原因。

1. 本体はしっかりと固定されていますか？ランプはゆるんでいませんか？
2. 送風機内のコネクタがしっかりと差し込まれていますか？
3. D種接地工事は実施されていますか？

■据付け終了後、操作スイッチで試運転を行い、動作確認をしてください。



- 1 電源プラグはしっかり差し込まれていますか？
- 2 ランプスイッチを押すとランプが点灯しますか？
- 3 風量切換スイッチを押して風量が切りかわりますか？
- 4 それぞれの風量で運転した場合、振動や異常音がありませんか？

本体からの異常音や焦げ臭いなど不具合のある場合は、据付けと接続を再確認し、正しく動作するよう処置してください。

(お客様が不具合のまま運転すると、機能が発揮されないばかりか、お客様の安全が確保できません)

■試運転の後は本体の保護のため、保護材で本体を覆ってください。

その他内装工事が残っている場合に、保護材を用いることで、天井や壁などの内装工事用の接着剤や塗料が付着して本体が汚損するのを防ぎます。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。